

水戸市中心市街地活性化協議会『定時総会』『研修会』報告書

- 【日 時】 平成30年6月18日（月） 午後2時～午後3時 【定時総会】
午後3時10分～午後4時30分 【研 修 会】
- 【場 所】 水戸商工会議所 第1会議室
- 【出 席 者】 会員8人 オブザーバー3人 傍聴者23人
- 【議 長】 大久保 博之 会長
- 【報告事項】 (1) まちづくり会社について
(2) 各専門部会の進捗状況（協議会提案事項の実現に向けた検討）について
(3) 「平成29年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告」における平成29年度の取組等に対する意見について
- 【審議事項】 ・議案第1号 平成29年度事業報告承認の件
・議案第2号 平成29年度収支決算承認の件
・議案第3号 平成30年度事業計画決定の件
・議案第4号 平成30年度収支予算決定の件
- 【報 告 者】 水戸市中心市街地活性化協議会 事務局（水戸商工会議所 産業振興課内）

平成30年度水戸市中心市街地活性化協議会『定時総会』を開催した。
開かれた協議会とするために運営委員会と部会のメンバーが傍聴。

1. あいさつ 大久保 博之 会長

規約により大久保会長を議長に協議に入った。

2. 報 告 事 項

(1) まちづくり会社について

- ・資料に基づき㈱まちみとラボの代表取締役を務める三上副会長から説明。
- 水戸ど真ん中再生プロジェクトと連携して、M-WORK 事業を進めている。
- ・第二檜山ビル（南町1丁目）をリノベーションし、若手の起業家を育成する場を立ち上げる。
- ・1階にはカフェ、2階には高校生など若者を対象にしたコワーキングスペースとする。
- ・平成30年9月上旬オープン予定。
- ・まちみとラボでは、地下をリノベーションし、チャレンジショップやワークショップなどが行える空間をつくる。
- マルシェの実験事業
 - ・平成29年11月、平成30年3月に新しいマルシェ「ガンゲット」を開催した。
 - ・手作り感のある、質の高いマルシェを開催し、計5日間で1万人以上の来場があった。
- 芝生広場づくり
 - ・ME! EAT! の隣の空き地を芝生化し、今後まちなかバザール会場としての活用を検討していく。
- 第2回まちなかビジネスプランコンテスト
 - ・3つの優秀賞プランを選出。平成30年度、50万円を上限に支援を行っていく。
- プロモーション事業
 - ・水戸市街地を中心に、さまざまなジャンルのカルチャー情報を取り上げ発信するウェブマガジン「TRIX MAG.」を立ち上げた。

- ・不定期で「TRIX MAG.」のフリーペーパーを発行していく。

(2) 各専門部会の進捗状況（協議会提案事項の実現に向けた検討）について

【プロモーション部会】

- ・プロモーション部会・黒澤部会長から説明。
- ・クリエイティブウィーク 2018 を9/8～9/24 に開催する。
- ・学生プロジェクト Mito kawaii project による Halloween Party in Mito を水戸マラソンとあわせて10/28 に開催する。
- ・アペリティフ 365 in 水戸を水戸まちなかフェスティバルとあわせて9/30 に開催する。
- ・ジュニアエコノミーカレッジ in みとは今年度の参加者を募集したところ、定員以上の申し込みがあり、定員数を増やして開催予定。
- ・まちなかプロジェクト実現センター（各種 PR 事業の展開）については、(株)まちみとラボのウェブマガジン・フリーペーパーの「TRIX MAG.」で、今後もまちなかのイベント情報などを発信していく。

【デザイン部会】

- ・デザイン部会・高野部会説明。
- ・「まちなかの保育所設置事業」「水府提灯ロマンティックス事業」の2つの事業を重点的に協議している。
- ・中心市街地での子どもの数が減っているため、若い夫婦が住みやすく、子育てしやすい街づくりを進めている。
- ・部会員の柏氏が内閣府企業主導型保育事業を活用し、備前町に保育園を立ち上げる。10月オープン予定。
- ・水府提灯ロマンティックス事業については、来年の4月に完成予定の水戸駅北口お休み処に計5つの提灯をつける方向で進めている。
- ・水戸ステーション開発の皆川社長を通して、お休み処とあわせて水戸駅コンコースへの設置も進めている。
- ・クリエイティブリーダー育成計画については、今後、「専門職業大学制度」が施行される予定。しかし、認定予定の学校は大規模な専門学校のみであることから、現状では進んでいない。

【産業創生部会】

- ・産業創生部会・三上部会長から説明。
- ・まちなかりノベーション事業については、平成30年度ビジネスプランコンテスト3つの優秀賞プランの支援を実施予定。
- ・新しいマルシェ「ガングット」や、ME! EAT! 脇の芝生広場で、定期的にマルシェイベントなどを仕掛けていき、にぎわいの拠点づくりをしていく。
- ・コンパクトシティ・まちなか居住委員会と連携して、まちなかの駐車場の空き情報がわかる仕組みづくり、ソフトバンクと連携したコミュニティサイクルの整備、まちなかで買い物をした人を対象とした割引サービスなどをそれぞれ検討していく。

3. 審 議 事 項

- 【議案第1号】と【議案第2号】は関連であることから、議長は一括しての審議を提案。
事務局が事業報告書、収支決算書について資料をもとに説明。

大橋監事が平成29年度収支決算について、証憑書類と照合した結果、適正であったことを報告。その後、質疑応答としたが、特に質疑・意見等はなく、事業報告および収支決算は承認された。

○【議案第3号】と【議案第4号】は関連であることから、議長は一括しての審議を提案。

事務局が事業計画および収支予算について資料をもとに説明。

その後、質疑応答としたが、特に質疑・意見等はなく、事業計画および収支予算は承認された以上で、予定した議案は終了。

○最後に、出席したオブザーバーの方々から意見をいただいた。

- ・国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所 八尋所長：昨年、水戸市の協力のもと 7/7、7/8 に「水辺のカフェ」を桜川河川敷で開催し、2日間で1,300人の来場があった。道路はもちろん、川を活用したイベントも今後支援していきたい。
- ・茨城県産業戦略部中小企業課 滝課長：専門部会の動きは特徴があり、日々新しいことを起こしていこうという雰囲気を感じる。事業を提案する人がいても、行動に移せる人が少なくなってきたなか、まだまだ水戸には行動することができる人がたくさんいる。これからも引き続き支援していきたい。
- ・水戸警察署 菅原地域官：警察署に相談をいただければ、イベントの事故防止や安全に運営することを目的とした指導を行うことができる。また、反社会勢力が入り込む心配があれば同様に相談してほしい。

【研修会】午後3時10～午後4時30分

テーマ；水戸ど真ん中再生プロジェクトの取り組みについて

講師；水戸ど真ん中再生プロジェクト 事務局長 川崎 篤之 氏

- ・水戸を地方創世の成功モデルにするべく、水戸出身の経営者をはじめ、42の企業や団体の代表者が集まり、中心街の活性化を目指し活動している。
- ・官と民”“外と中”をつなぐことで、事業提案に留まらず、具体的なアクションを生み出す新たなプラットフォームとして活動している。
- ・水戸ど真ん中再生プロジェクトのメンバーであり、海外ファッション通販サイトを運営する㈱エニグモの須田氏が第二檜山ビル（南町1丁目）を購入し、M-WORK 事業として若手の起業家を育成する場を立ち上げる。1階にはバイロンベイクフェ、2階には高校生など若者を対象にしたコワーキングスペースとする。
- ・「バンドを組む」ような感覚で、それぞれが得意な分野を持ち寄り、ベンチャー企業を立ち上げてもらいたい。
- ・まちみとラボが運営する地下のショップでは、若手アーティストの作品を購入できる場にしたい。
- ・これからは、民間企業が投資したいと思うような事業提案をしていくことが重要。リスクを背負ってでも、投資してビジネス化したいと企業に思わせること。
- ・クラウドファンディングを活用して事業化することも1つの手だが、最近では支援してもらいやすい人に依頼が殺到し、クラウドファンディング疲れが見受けられる。
- ・水戸出身の経営者や、水戸に関係している経済人のネットワークを構築することが重要。

以 上